ひとが輝くまち

広報ゆざ

YUZA Town Public Relations

平成30年　No.685

3

今月の話題

第15期遊佐町少年議会活動報告 …… 2P

住所の異動手続きを忘れずに …… 6P

ほか

少年議会

第15期遊佐町少年議会 平成29年度活動報告

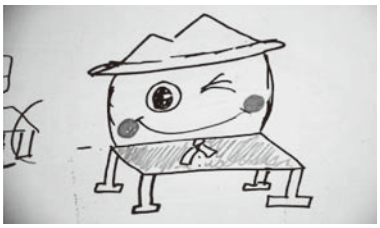
第１回少年議会での記念撮影

- 少年町長　森谷　龍大（遊佐高校３年）
- 少年副町長　髙橋　菜穂（天真学園高校１年）
- 少年議長　鈴木麻優子（酒田光陵高校２年）
- 少年議員　佐藤　　塁（遊佐中学校１年）
  齋藤　愛彩（遊佐中学校３年）
  三浦　真綾（遊佐中学校３年）
  五十嵐　杏（遊佐高校１年）
  石垣　千里（酒田東高校１年）
  木村　美紅（遊佐高校１年）
  土門　希紀（天真学園高校１年）
  白崎　志織（酒田西高校２年）

政策 ① 手づくりの「米～ちゃん」ベンチ製作&設置

午後６時以降、遊佐駅の待合室やホームに座る場所が少なく、遊佐高生の下校時には待合室が一杯になってしまい、一般の方に迷惑をかけてしまったという少年町長の体験談をもとに話し合い、政策として決まった「ベンチ製作」。

デザインを話し合う中で「遊佐町と少年議会をＰＲするデザインにふさわしい」となった第２期少年議会が公募し誕生した「米～ちゃん」をモチーフとするベンチとなりました。背もたれの上部は「米～ちゃん」が被っている鳥海山の形をした麦わら帽子をイメージしました。



塗装作業の様子

テープカットの様子

平日の放課後や土日に集まり、ペンキで４台の木製ベンチにカラフルな塗装を施しました。

製作にかかった期間は約１ヶ月、延べ７回の全員協議会を開催し完成させたベンチは町内各所に設置され、町内外の方から好評を得ています。

遊佐駅においては、12月18日㈪に、設置記念セレモニーとして遊佐町長や羽後本荘駅長など、多くのご来賓から出席をいただきテープカットを行いました。新たな遊佐町のスポットとして、町民だけでなく町外から遊佐町を訪れる方々も出迎えます。

また、製作したベンチはそれぞれ違う絵柄になっていますので、４種類すべてのベンチをご覧いただくのはもちろん、すわり心地もぜひお確かめください！

《ベンチ設置場所》

- ●遊佐駅ホーム　→米～ちゃん&ライちゃん
- ●生涯学習センター→2236YUZA
- ●子どもセンター　→米～ちゃん
- ●エルパ　→ライちゃん

少年議会

少年議会

政策 ② Photo Coco ゆざまち。 ～あなたの好きな「ゆざまち」教えてください～

少年議会の名前の認知度だけでなく具体的な活動の認知度を高め、町と少年議会をPRするために、町のおすすめの風景やおもしろい風景を募集する「フォトコンテスト」を開催しました。

自分たちで募集ポスター・チラシを作製し、町内の小･中･高校と酒田市内の高校の全児童・生徒へ配布しました。10月２日㈪～11月12日㈰に作品を募集をした結果、７名の方から20点の出展がありました。11月19日㈰に少年議会で審査し、受賞された方々へ11月27～29日にかけて少年町長、少年議長から賞状と副賞が贈られました。

審査の様子

展示の様子（生涯学習センター）

表彰式の様子

政策 ③ 町民体育館の「米～ちゃん」階段アート制作

町のマスコットキャラクターとして町内外から親しまれている「米～ちゃん」をより町のPRに活用するため、ツーデーマーチやスポーツの大会等で多くの方が訪れる町民体育館の西側外階段に「米～ちゃん」の階段アートを制作しました。

全員協議会の中で皆でデザインを考え、制作を依頼した業者の方と細かい調整などを行い10月に完成しました。

その他の活動 視察や取材の受け入れなど

７月３日㈪に開催された第３回全員協議会では、自由民主党所属の若手有志「若者の政治参加検討チーム」の衆議院議員４名が、視察・意見交換のために訪れました。「町への要望、自分たちの政策」をテーマにワークショップを行い、その後の意見交換では、少年議員から積極的な質問があり、活動の参考となるアドバイスをいただきました。

10月９日㈪・㈷の神鹿角切祭・第10回全員協議会では、韓国ＫＢＳ放送の取材を受けました。「少年議会として独自の政策予算を持ち、それを使って政策を実現している珍しい事例」として、イベントの様子と全員協議会での話し合いの様子やインタビューなどの撮影が行われました。

たくさんの町内イベントに参加しました！

◇町民盆踊り大会　◇奥の細道鳥海ツーデーマーチ
◇鳥海山神鹿角切祭 など

他にもさまざまな事業への協力や活動を行いました

◇10代の投票率向上に関する聞き取り　◇東北芸術工科大学への視察研修 など

少年議会

活動を終えて

今期1番心に残っている事は？

12月22日に第3回少年議会が開かれ、今年度の活動が終了しました。当選した昨年6月から、懸命に遊佐町のことを考えながら活動していただきました。

最後に、少年議会の皆さんに活動の中で一番心に残っていることを教えてもらいました。

少年町長

森谷龍大

(遊佐高等学校３年)

今年度の少年議会で思い出に残っている事は、ベンチ製作です。このベンチ製作を通し、みんなで作り上げることの大切さや自分の意見を言うことの大切さを学ぶことができました。それにより、周りを見て何をすべきか考えることができました。

今期は少年町長として活動してきました。初めは不安もありましたが、みんなの協力のおかげで自信を持つことができました。振り返るとあっという間の半年間でしたが、内容の濃い経験をすることができました。

少年副町長

髙橋菜穂

(天真学園高等学校１年)

鳥海山神鹿角切祭で鹿の角を切ったことです。吹浦に住んでいる祖母にすすめられ、角を切る役を希望しました。初めての経験でしたので、うまく切ることができるか心配でしたが、丁寧に切ることができました。

一生に一度しかできないであろう大役を体験させていただき、とても感謝しています。これからも、少年議会での経験を活かしてがんばっていきたいと思います。

少年議長

鈴木麻優子

(酒田光陵高等学校２年)

国会議員の方々と行ったワークショップです。緊張もしましたが、たくさんアドバイスや声をかけていただき、充実したワークショップをすることができました。意見交換では議員の方々にたくさんの質問をさせていただき、より良い町にしていくには何が必要なのかを知ることができました。

少年議員のみんなと楽しく活動することのできた、充実した１年になりました。

少年議員

佐藤墾

(遊佐中学校１年)

ツーデーマーチのボランティアに初めて参加したことです。出発式でのエールや見送りをさせていただき、参加者の方の笑顔が大きく印象に残った楽しい一日でした。

また、米～ちゃんをモチーフにしたベンチ製作も心に残っています。町内にベンチが少ないという問題を、少しでも解消できて良かったと思います。そのベンチに座っている人を見ると嬉しい気持ちになります。

少年副議長

齋藤愛彩

(遊佐中学校３年)

鳥海山神鹿角切祭で鹿の角を切ったことです。動物の角を切ることが初めてだったので、チャレンジだと思いとてもワクワクしていました。実際にやってみると鹿が痛がっているのではないかと不安でしたが、「人が髪を切るのと同じだから痛くないよ」と声をかけていただき、思いきって挑むことができました。とても貴重な体験をすることができ、良かったと思いました。

少年議員

五十嵐　杏

(遊佐高等学校１年)

ベンチを製作したことです。より明るく、きれいな町にすることができ、ベンチを見るたびに少年議会の活動を実感できます。色鮮やかで座り心地の良いベンチですので、長く利用してもらいたいと思います。

全員協議会や衆議院議員の方々との意見交換も思い出に残っています。この経験を将来に役立てたいと思います。少年議員のみんなと一緒に、良い経験ができたと思います。

少年議員

三浦真綾

(遊佐中学校３年)

ベンチ製作が一番印象に残っています。デザインから始め、下塗りやヤスリがけ、色塗り、そして設置まで自分たちの手で完成させることができ、大きな達成感を得ることができました。難しい所もありましたが、メンバーの皆さんとアドバイスをし合いながら楽しく活動することができ、1番心に残るものとなりました。

全員協議会もとても楽しく、充実した1年になりました。

少年議員

木村美紅

(遊佐高等学校１年)

私が一番思い出に残っていることは、ベンチ製作です。少年議員のみんなと一緒にペンキを塗ることがとても楽しく、協力して完成させることを通して大きな達成感を得ることができました。遊佐町内に設置されたベンチを見るたびに「がんばってよかった」と思います。１年間ありがとうございました。

少年議員

石垣千里

(酒田東高等学校１年)

私が今期の少年議会の活動で心に残っている事は「ベンチ製作」です。デザインを考え、ペンキでの色塗りは大変でしたが、とても愛嬌のあるベンチに仕上がって、みんなで協力したかいがありました。第15期少年議会のメンバーはとても仲が良く居心地がよかったです。ベンチは私たちの団結力が現れていると思います。たくさんの方に使っていただけると嬉しいです。

少年議員

白崎志織

(酒田西高等学校２年)

私が一番心に残っていることは、「ベンチの製作」です。町外から来た人にも、町の良さや私たちの活動を知ってもらえるようなデザインを考えることは簡単ではありませんでした。色を塗る作業は予定が合わず、なかなか参加することができませんでしたが、そのような中でも少年議員のメンバーと協力して作業することができた充実した時間でした。

少年議員

土門希紀

(天真学園高等学校１年)

ツーデーマーチへスタッフとして参加したことです。少年議員になる前は、小･中学校の時に参加者として参加したことしかありませんでした。スタッフとして参加して、初めて運営側の大変さを感じることができました。出発式のエールの後の見送りでは、米～ちゃんと一緒に小さな子どもから年配の方まで多くの方々と触れ合うことができ、とても良い思い出になりました。

1年間の少年議会の活動へのご支援、ありがとうございました!

引越しの際は、住所の異動手続きを忘れずに！

就職・転勤・進学等で引っ越しの多い春。種々の異動手続きについてご案内します。

住民票の住所の異動手続きは、国民健康保険・国民年金・選挙人名簿（18歳以上の方）への登録などにつながる大切な手続きです。町民課窓口で受け付けしています。ご不明の点がありましたら、遠慮なくお問い合わせください。　●問／町民課町民係　☎72-5885

「◆」は、すべての方が必要です。「◇」は、該当する方のみ必要です。

●引越しなどで住所が変わったとき

転　出　届	転　入　届	転　居　届
遊佐町から他の市町村へ引っ越しする方 ◆印鑑 ◆本人確認書類（運転免許証等） ◇印鑑登録証 ◇国民健康保険証 ◇後期高齢者医療保険証 ◇介護保険証 ◇予防接種のしおり ◇子育て支援医療証 ◇ひとり親家庭等医療証 ◇重度心身障がい者（児）医療証 ◇高齢受給者証 ◇在留カード（外国人の方）	**他の市町村から遊佐町へ引っ越してきた方** ◆印鑑 ◆本人確認書類（運転免許証等） ◆転出証明書 ◆通知カードまたは個人番号カード ◇年金手帳 ◇介護保険受給資格証明書 ◇身体障がい者手帳 ◇健康保険証（退職した方は、離職票や被保険者資格喪失連絡票等） ◇住民基本台帳カード ◇在留カード（外国人の方） ◇後期高齢者医療負担区分等証明書（後期で県外から転入の方） ◇児童手当受給者の通帳	**遊佐町内で引っ越しした方** ◆印鑑 ◆本人確認書類（運転免許証等） ◆通知カードまたは個人番号カード ◇国民健康保険証 ◇後期高齢者医療保険証 ◇介護保険証 ◇子育て支援医療証 ◇ひとり親家庭等医療証 ◇身体障がい者手帳 ◇年金手帳 ◇重度心身障がい者（児）医療証 ◇高齢受給者証 ◇住民基本台帳カード ◇在留カード（外国人の方）
転入・転出・転居の届け出は、ご本人でなくても同じ世帯の方であれば代理で届け出することができます。 親族であっても、別世帯の方が届け出するときは、ご本人からの委任状が必要です。		

●就職や退職などで、健康保険・年金に異動のある方

国民健康保険についての届け出　●問／健康福祉課国民健康保険係　☎72-5875

◆世帯主および該当する方の通知カードまたは個人番号カード
◆窓口に来られた方の本人確認書類（運転免許証等）

・退職した、または健康保険の扶養家族に該当しなくなったとき
◆健康保険をやめたことがわかる証明書（離職票等）、または扶養家族に該当しなくなったことがわかる証明書

・勤務先の健康保険に加入した、または健康保険の扶養家族に該当したとき
◆国民健康保険証　◆勤務先から受け取った健康保険証

・進学して他の市町村に引っ越し、学生用の国民健康保険証が必要になったとき
◆印鑑　◆国民健康保険証
◆在学証明書（入学前で在学証明書が交付されないときは合格通知書。入学後に在学証明書を提出してください。）

・学生用の国民健康保険に該当しなくなったとき
◆印鑑　◆学生用の国民健康保険証　◆卒業証明書、退学証明書、在学期間証明書のいずれか（卒業または退学の場合）
◆勤務先の健康保険証（就職の場合）

●国民年金についての届け出　●問／町民課町民係　☎72-5885

就職等により厚生・共済年金に加入したとき	退職等により厚生・共済年金でなくなったとき	扶養されている妻(夫)で夫(妻)が離職したとき
◆該当する方の通知カードまたは個人番号カード ◆窓口に来られた方の本人確認書類（運転免許証等） ◆年金手帳 ◆国民健康保険証 ◆勤務先の健康保険証	◆該当する方の通知カードまたは個人番号カード ◆窓口に来られた方の本人確認書類（運転免許証等） ◆年金手帳 ◆離職日を確認できるもの（退職した方は、離職票や被保険者資格喪失連絡票等）	◆該当する方の通知カードまたは個人番号カード ◆窓口に来られた方の本人確認書類（運転免許証等） ◆年金手帳 ◆離職日を確認できるもの（退職した方は、離職票や被保険者資格喪失連絡票等）

※平成30年３月５日からは、国民年金の手続きの際にマイナンバーの提示が必要になります。上記届け出の他、免除申請、付加保険料納付申出、年金手帳再発行等の手続きで必要となりますのでご承知おきください。
なお、マイナンバーの取り扱いの詳細については、町民係へお問い合わせください。

窓口で本人確認を行っています。

第三者が本人になりすまして、戸籍の届け出や税の証明を取得したりする犯罪が発生し、被害を受ける人が出ています。そのため、届け出や証明書の交付申請をされる方の本人確認を行っています。本人確認ができないときは、証明書を交付することができませんのでご了承ください。

ふるさと想ひびと

第23回 患者様の喜びの声にやりがいを感じます。

理学療法士
加藤（かとう） 雄太（ゆうた）さん
（八日町）
昭和61年８月生

現在のお仕事について

千葉県船橋市にある船橋整形外科病院の外来部門で理学療法士として働いております。

理学療法士は患者さんのリハビリを行う仕事であり、自分も学生時代にケガをしたことでこの職業を知り、めざすきっかけとなりました。現在働いている病院は整形外科専門の病院でありながら、年間５０００件近い手術を行う専門性の高い病院でもあり、外来リハビリにおいても、関節の痛み等で悩む地域の高齢の方や、ケガからのスポーツ復帰をめざす学生やアスリートまで、大変幅広い患者様のリハビリに携わることができております。「痛みが軽くなってできなかったことができるようになった」「大会に出場できた」等、リハビリの成果が形となって患者様から喜びの声をいただくことは、大変やりがいを感じる場面でもあります。

１日800人以上が利用する広いリハビリ室です。

遊佐町へのメッセージ

遊佐町から出てはじめて、遊佐町の自然や景色の良さに気づかされることもたくさんありました。まだまだ遊佐町の知らないところもたくさんあり、今後も帰省の度に町の新たな発見をし、故郷の良さを県外の方々に伝えていけたらと思います。

鳥海山・飛島ジオパーク　リレーコラム

「日本海と大地がつくる 水と命の循環」

《第39回》「草津白根山の噴火と鳥海山」

秋田大学教育文化学部
（火山地質学専門）
教授
林　信太郎 氏

本年1月23日、群馬県の草津白根山が突然噴火しました。私たちの鳥海山はどうなのでしょう？突然噴火したりするのでしょうか？

その可能性はあります。１９７４年にも鳥海山は水蒸気噴火を起こしています。この噴火は、草津白根山の今回の噴火と同じく水蒸気噴火でした。

ただしです。あまり恐れる必要はありません。突然、噴火予知のできない小さな噴火が発生する可能性はものすごく少ないのです。でも、登山する場合、いざという時のことは考えておいて欲しいと思います。

「百万が一」そのような噴火にあったなら（変な言い方ですが、ざっと計算すると、１回の登山で突然の水蒸気噴火に会う可能性は１００万分の１かそれ以下）、山小屋に隠れる、岩かげに隠れる、隙を見て遠くに走って逃げるなど、「逃げる」「隠れる」行動をすばやくとりましょう。ヘルメットがあるとかなり安全性が高まります。

ぜひ、少しだけ気を使いながら登山をして、鳥海山のすばらしい風景を楽しみましょう。

1974年に水蒸気噴火をおこした鳥海山山頂部

Town Report タウンリポート

まちの話題

遊佐町総合交流促進施設㈱ 創立20周年記念式典

創立20周年おめでとうございます。

2月8日㈭、鳥海自然文化館「遊楽里」で遊佐町総合交流促進施設株式会社創立20周年記念式典が行われました。同社は、平成9年にオープンした道の駅鳥海「ふらっと」の運営を目的とし、平成8年6月6日に第3セクターとして設立されました。現在は遊佐町から指定管理を受け、道の駅鳥海「ふらっと」・鳥海温泉「遊楽里」・サンセット十六羅漢および十六羅漢公園・標高1，000mの宿「大平山荘」・鳥海温泉保養センター「あぽん西浜」・食事処「とりみ亭」・四季の森「しらい自然館」・西浜コテージ村・マルチドームふれんどりぃ・遊佐町農林漁業体験施設（さんゆう）などの施設を運営管理しています。

設立以来、『笑顔と真心をモットーに、値段も半音（ふらっと）下げて』を合言葉に、地域の方から愛される、交流の場となるような施設をめざして運営を続けてきました。特に道の駅鳥海「ふらっと」は、平成26年に東北「道の駅」連絡会が開催した事例発表会で、東北6県144か所ある道の駅の頂点に輝く最優秀賞を受賞。現在では年間入込客数が230万人を超える人気の道の駅となりました。地場産品の農・海産物を中心に提供するこの道の駅は、県外の利用客も多く、地域の活性化や魅力発信に大きな役割を担っています。

今後も、町の魅力を発信し、町民の皆さまから愛される施設運営が期待されます。

江戸時代からの可愛い芸術 …ちりめん細工制作体験

小さな布を縫い合わせて小物を作ります。

2月10日㈯、語りべの館においてちりめん細工制作体験を実施しました。ちりめんとは、細やかな「しぼ」のある美しい絹織物のこと。このちりめんの小さな布を縫い合わせ、人形や髪飾りなどの小物を作ったのがちりめん細工です。

この日は約30名が参加し、「鳩」と「赤カブ」をモチーフに古布を用い制作。講師の指導のもと、冬の古民家で針仕事の奥深さを学びました。

旧青山本邸が華やかに彩られる …日本海ひな街道【ひなまつり】

今年はウサギさんのお雛様も飾られています。

2月14日㈬から4月1日㈰まで、旧青山本邸で日本海ひな街道【ひなまつり】が開催されています。邸内は写実的な古今雛や能面のような顔をした享保雛のほか、ウサギの雛人形などユーモア溢れる創作雛も展示され、華やかに彩られています。3月11日㈰、17日㈯、18日㈰は抹茶無料サービスがありますので、皆さんもご覧になってみてはいかがでしょうか。

※詳しくは、19ページをご覧ください。

フォトトピックス

Photo Topics

郵便局と相互連携を強化

２月１日㈭、町は郵便局と「災害発生時の対応と平常時における高齢者見守り活動の相互協力及び道路損傷発見時の対応に関する協定書」を交わしました。郵便局との連携を密にし、より良いまちづくりに取り組んでいきます。

自然の神秘へご案内

2月11日㈰、鳥海山二ノ滝氷柱トレッキングツアーが行われ、県内外から60名を超える参加者が氷柱をめざしスノートレッキングを行いました。極寒の世界が作り出す絶景に、参加者の皆さんからも喜びの声が聞こえました。

花言葉は「忍耐」「厳しい美しさ」

２月２日㈮～４日㈰にかけて、生涯学習センターで盆栽愛好会主催の梅花展が開催されました。花言葉のとおり寒波の襲来にも負けず、美しい花を咲かせた梅花が並びました。

あったか鱈ふく汁をいただきます！…第23回ゆざ町鱈ふくまつり

鱈ふく汁で芯からあったまるね！

１月21日㈰、マルチドームふれんどりぃで第23回ゆざ町鱈ふくまつりが開催されました。事前のＰＲ活動の効果もあり、前売券は完売。さらに当日券も早々に完売し、会場はあっという間に席が埋まる大盛況！また、珍しいツリーイング（木登り）の体験コーナーも併設されました。さらに、鳥海太鼓保存会、仁賀保太鼓伝承会、象潟九十九島太鼓の皆さんによる環鳥海新春太鼓揃い打ちの披露も。大迫力の太鼓とアツアツの鱈ふく汁で、冬の寒さにも負けない熱い一日となりました。

平成30・31年度遊佐町優良特産品推奨品が決定しました！

たくさんの町内産品が出展されました。

２月８日㈭、平成30・31年度の町優良特産品推奨品を認定する審査会が開催されました。町内産品56品が出品され、食品部門では金賞に甘糀あん（リゼロ）、特別賞におつまみイカ（元気な浜店）、工芸部門では金賞にＰＯＴ ＳＴＡＮＤ（有）福増建具店）、特別賞にへちま化粧水（へちま研究会〝ピュア〟）が選ばれました。認定された推奨品は、３月10日㈯～11日㈰にエルパで開催される特産品フェアでも販売されます。

●問／遊佐ブランド推進協議会 ☎72－3966

おたより大募集！
日頃感じていることや心温まるエピソード、広報の感想など、あなたの声をお寄せください！ご投稿は投書ハガキでどうぞ。
●問／企画課企画係　☎72-4523

まちかど Town Voice ホットライン

読者の広場

大雪時の小学生の登下校について
…匿名希望

大雪の際に、車道を歩いて登下校する小学生の姿が見られます。よく見ると、歩道が雪で埋まってしまい歩くことができないようでした。非常に危険だと思いますので、何とか対応していただけないでしょうか。

答／道路除雪について、ご指摘ありがとうございます。通学路に指定されている歩道については、道路除雪と同様に作業を行うことになっておりますが、今回、機械の故障による作業の遅れのため、児童の登下校の安全確保に支障をきたす状況となってしまいました。今後は、このようなことがないよう作業体制の見直しを行っていきます。

●問／地域生活課土木係　☎72－3327

まちづくりセンターの喫煙場所について
…匿名希望

受動喫煙が世界的に問題視されている昨今ですが、蕨岡のまちづくりセンターでは玄関入口の風除室が喫煙場所に指定されています。子どもたちや婦人会など、多くの利用者が喫煙場所を通る状態になっていますので、改善していただきたいです。

答／蕨岡まちづくりセンターをご利用いただきありがとうございます。いただいたご意見を基に施設管理をお願いしている蕨岡まちづくり協会と協議し、風除室内の灰皿を撤去しております。他地区のまちづくりセンターも含め、安心して利用できる環境づくりに今後もいっそう努めてまいります。

●問／企画課まちづくり支援係　☎72－4524

「公益」ってなんなんだ？
…遊佐小学校で公益大生が授業

「公益とは何か」を考える授業が1月24日㈬、遊佐小学校で行われました。小学4年生を前に教壇に立ったのは、東北公益文科大学の竹田汐里さんと天野希一さん。公益とは「自分も含めたみんなにとって、思いやりを持って行動すること」「『思いやりを持って』のところが大切だよ」と丁寧に説明。日頃から自分のしている公益、してもらっている公益について改めて振り返る機会となりました。

この取り組みは、公益とは何かを教えているKoekiKidsProjectの一環として行われています。

「公」「益」の漢字の意味から、丁寧に教える竹田さん（左）と天野さん（右）。

遊佐小学生へ向けて 遊佐高生が総合学習発表会

2月13日㈫、遊佐小学校ランチルームで遊佐高校生が総合学習の発表会を行いました。この取り組みは、遊佐高校と遊佐小学校の総合的な学習の内容に共通部分が多かったため行われたもの。この日は高校2年次生が、小学4・5・6年生へ向けてイバラトミヨの生態

まち協インフォメーション

遊佐 地域の先生集まれ！ 自薦、他薦 耳よりな情報!!

H29年度から遊佐地域づくり協議会では遊佐小学校と共にコミュニティスクールに取り組んでいます。学校と家庭、地域が協働する。「地域が一体となって子どもの育成」をめざしていく上で、子どもたちに伝え、教えていただける人を探しています。例えば、「漬物が得意」、「わら細工が得意」、「魚釣りが好き」、「昔話を語れる」、「郷土食を作れる」、「遊佐の歴史を話したい」、「野球が得意」、「木について詳しい」などなど。得意なことなどお茶を飲みながら教えてください。電話でもＯＫです。遊佐地域づくり協議会事務室でお待ちしております。

●問／遊佐地域づくり協議会　☎72-2120　FAX72-2515　E-mail:yuza@yuzamachi.org

きらっと・ナウ

本間 健太さん（六日町）
Kenta Honma
平成５年生まれ

努力すれば夢は叶う

■一言／

TBSテレビのSASUKE2017に出場しました。おそらく、遊佐町からは初の出場者だと思います。SASUKEは高校の時からの夢で、高校を卒業してからは毎年オーディションを受け、ようやく昨年出場することができました。

普段は剣道をしていて、本楯剣志会で小学生に指導しながら、自分も選手として練習に励んでいます。基礎的なトレーニングには日頃から取り組んでいるのですが、昨年は新エリアの「フィッシュボーン」で落ちてしまいました。これからも、SASUKE完全制覇をめざして努力を重ねていきたいと思います。

職業は鬼飾り職人です。アマルメ工芸社で、和風住宅や神社仏閣に取り付ける「鬼飾り」や「家紋」などの金属製装飾品を作らせていただいています。

■町への要望／

老若男女、一人ひとりが笑顔で暮らせる町であってほしいです。

イバラトミヨのことは、優しく扱ってね!

調査結果と、遊佐町四大祭（藤蔵祭）の紙芝居を発表しました。高校生の４年間をかけたイバラトミヨの調査に、児童たちからは「自分たちよりも、稚魚のデータなどがすごく詳しく調査されていて驚きました」と感嘆の声が上がりました。

発表会が終わった後には、小学生から高校生へバレンタインのサプライズプレゼント。お互いに、学びと交流の輪が広がった発表会となりました。

地域活動セミナー Talking庄内！in遊佐高校

２月２日㈮、遊佐高校でTalking庄内！in遊佐高校が行われました。この取り組みは高校生が地域で活躍する青年との交流を通し、卒業後の地域活動に加わるきっかけを作ることを目的としたものです。

この日は遊佐高３年次生18名が、地域で活躍する青年５名と交流。簡単なゲームでお互いの緊張をほぐした後、「青年のいろんな経験談」や「自分の住む地域でやってみたいこと」などを話し合いました。４月から新しい環境に飛び立つ遊佐高生は、就職と進学がおよそ半々。新しい生活に向け、有意義なお話を聞くことができました。

打ち解けた雰囲気で、いろんなお話ができました。

集落支援員だより

北海道から視察団が来町

北海道と庄内の家の作りの違いをチェック

１月に北海道庁と北海道総研、富良野市、鷹栖町、浦河町の皆さんが、遊佐町の空き家対策と移住支援の視察に来町しました。遊佐町は「移住者対応先進の町」ということで、駅前二区にあるリフォーム空き家にご案内。北海道では断熱材がたくさん入るため柱のある壁が珍しく、床下の構造や屋根なども地域差があると、建築の専門家の意見も聞くことができ勉強になりました。

全国各地で空き家対策が急がれている中、遊佐町もひとつでも多くの空き家と利用者をつなげられるよう活動していきます。

集落支援員　渋谷一行、佐藤正子
☎72-3981　FAX28-8455（集落支援員事務所：Aコープゆざ店２階）